



パーキンソン病とは・・・

身体を動かす時の脳の動き

脳の黒質でドーパミンが作られ→線条体→大脳皮質に運動を調整する指令が出されます。例えば歩行に着目すると・・・



脳からの指令が筋肉等に上手く伝わり、しっかり歩ける！

脳からのドーパミンが不足し、指令が伝わらず一歩が出しづらくなったり、震えたりしうまく歩けない。



脳の異常のために、身体の動きに障害があらわれます。



代表的な症状

- 1 動作が遅くなる、小さくなる、少なくなる
- 2 手足が震える、身体の一部が無意識に動く（振戦）
- 3 動かそうとすると、関節に抵抗がみられる（筋固縮）
- 4 バランスが取れない



各個人で進行のスピードや症状は異なります。また、精神症状（幻覚、抑うつ、認知症）と自律神経症状（便秘、血圧変動）も伴います。

パーキンソン病に特化した訓練方法！！「LSVT」

LSVT（エルエスブイティー）とは、パーキンソン病患者者に特化した訓練方法です。発声訓練を主体とする訓練方法をLSVT-LOUD（ラウド）、運動訓練を主体とする訓練をLSVT-BIG（ビッグ）と区別されています。これらは、米国のRamigらが考案した訓練方法です。所定の試験を通過したリハビリスタッフのみが施行を認められます。



LOUD

取得しました！

LSVT-LOUD

意識的に大きな声を出し発話明瞭度を改善する訓練方法です。声を大きく出す習慣を身に付けることで、話す・飲み込む機能の改善を目指します。

あ〜



LSVT創始者のRamig先生の直接講義を受け、たくさんのお話を聞きました。今後の業務に活かしていきます。

言語聴覚士 生澤

BIG取得しました！

LSVT-BIG

動作の「大きさ」のみに焦点を当て、さらに繰り返し運動を行うことで感覚を学習し再認識する効果があります。

大きく動かそう



今回、LSVT-BIGの講習会を受けてとても勉強になりました。今後の治療などにも役立てていきたいです。

理学療法士 坂本